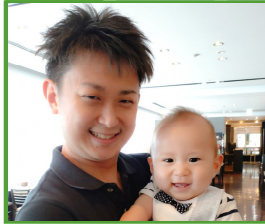


人 チーム 制度



フォローは、めぐり巡るもの。
次は自分がフォロー側～男性育児休業
株式会社ニュージェック 鈴木 達也さん

今回ご紹介するのは(株)ニュージェックで港湾の仕事に携わる鈴木達也さん。奥様が出産後、男性育児休業を取得され、職場復帰後は0歳(10ヵ月)のお子さんを育てながら毎日大忙し!だそうです。男性育児休業についてお話を伺いました。

プロフィール
氏名 : 鈴木 達也 (35)
所属 : 港湾・海岸グループ
勤続年数 : 10年目
居住地 : 大阪市
家族構成 : 妻/長男 (10ヵ月)
主な業務 : 港湾施設の設計
趣味 : バドミントン

これまでの経歴を簡単に教えてください。

電力施設の耐震設計に8年間携わり、9年目で現在所属する港湾・海岸グループへ異動。趣味のバドミントンで、妻と出会い結婚。職場での異動の年と妻の出産が重なり、現在、育児・家事・仕事に奮闘中!

奥様と、家事・育児の分担はどうされていますか?

家事や育児に決め事はないです。自分が在宅している時は積極的に食事の支度・後片付け・掃除などの家事をやっていて、子供の入浴・おむつ替え・寝かしつけなどの育児はもはや自分の日常になっています。

男性育児休業を取得されていましたが、取得期間についてはどのようなお考えで決定されましたか?

育児休業をとることは決めていました。コロナ禍での出産でしたので、感染リスクを抑えるため、実家の力は借りないようにしようと話し合いました。

なるべく妻の負担を減らすために取得した育児休業でしたが、期間としては2ヶ月弱でした。当初、自分の中では1ヶ月と考えていましたが、出来るだけ長くという妻の希望もあり、上司と相談してプラス1ヶ月、計2ヶ月弱の期間としました。

1年間取得可能でしたが、自分が異動して間もない頃であったことや、出産時期が繁忙期と重なったことで1年間の長期取得は考えにありませんでした。また、厚労省の育児休業給付について6ヵ月後には給付金が減額されることや、育児休業取得による会社のボーナスなどの減収も現実として考慮しました。

(2022年10月 現在)

男性育児休業の取得について不安はありましたか?



私は育児休業を絶対取る必要があったので、不安という思考には至りませんでした。業務の負担が同僚や上司へいってしまうことに対しては申し訳なさがありました。

社会全体が普通に育児休業をとる時代になれば、みんな順番に交代でとることになるので、そういった申し訳なさは減ると思います。そんな時代が来て欲しいです。

今後、男性育児休業を取得される方へのアドバイスをお願いします。また、その方の同僚・上司になられる方へお願いしたい協力はありますか?

～男性育児休業を取得される方へ～

もしも育児休業取得を迷っているなら、絶対にとった方がいいです。必ず良い経験になると思います。期間については、赤ちゃんの発育過程を考えて予防接種などのイベント時期も考慮した上で決定するのも良いと思います。

～男性育児休業取得者の同僚・上司になられる方へ～

なるべく背中を押してあげて欲しいです。出産時期が判明して、育児休業取得の申請からある程度の準備期間があるはずなので、休業中の業務対応についてみんなでフォロー体制を考えてあげて欲しいです。自分の場合は本当に全面的にフォローをもらい、とっってもありがたかったです。

(写真; 背中を押してくれた上司☆押しボス'たちと撮影) →



(撮影時のみマスクを外して頂きました)

建設コンサルタントとしてワーク・ライフ・バランスについてどうしてお考えをお持ちですか?

建設コンサルタントの一員としては、自分の技術を向上させる必要性を感じていて、上司・同僚の力を借りながら切磋琢磨するしかないと思っています。時間は使えますけどね。

今はまだ、妻と一緒に育児に精一杯ですが、いずれ子供の成長と共に余裕ができる時期が来ると思うので、その段階で「仕事」「家庭」「自分」の3つについてバランスをとる働き方・生活を目指したいと考えています。趣味のバドミントンを再開して心身ともにリフレッシュ!できる日を今から楽しみにしています。